

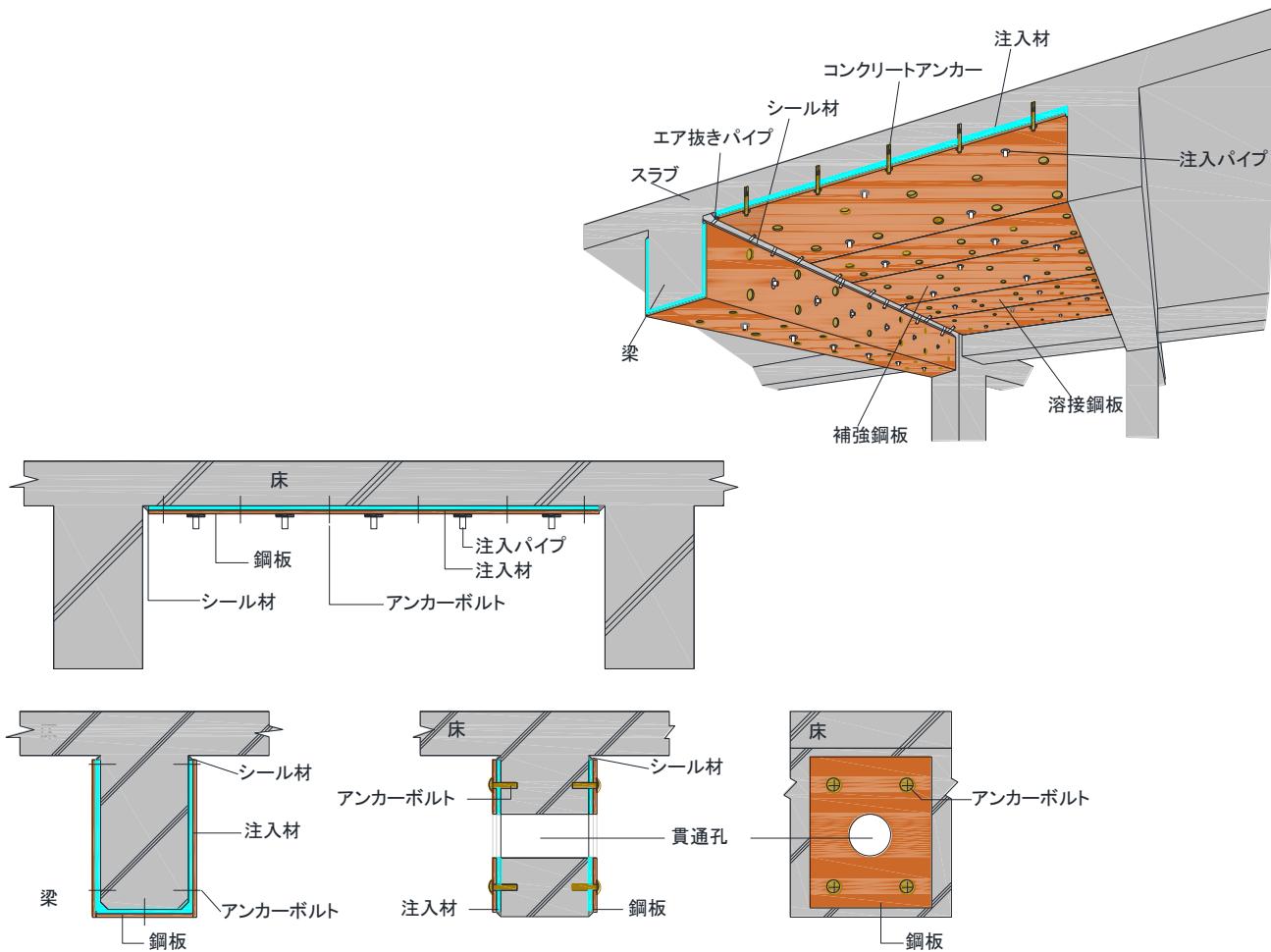
補修補工法

■ 鋼板接着工法

○ 工法の概要

鋼板接着工法は、建築、土木構造物に鋼板をアンカーボルトで固定し、空隙にエポキシ樹脂を注入し、鋼板をコンクリートに接着する工法です。鋼板とコンクリート躯体の間にエポキシ樹脂を注入することで一体化を図り、構造物の耐力および剛性が向上します。

○ 主な特長



1. 補強効果

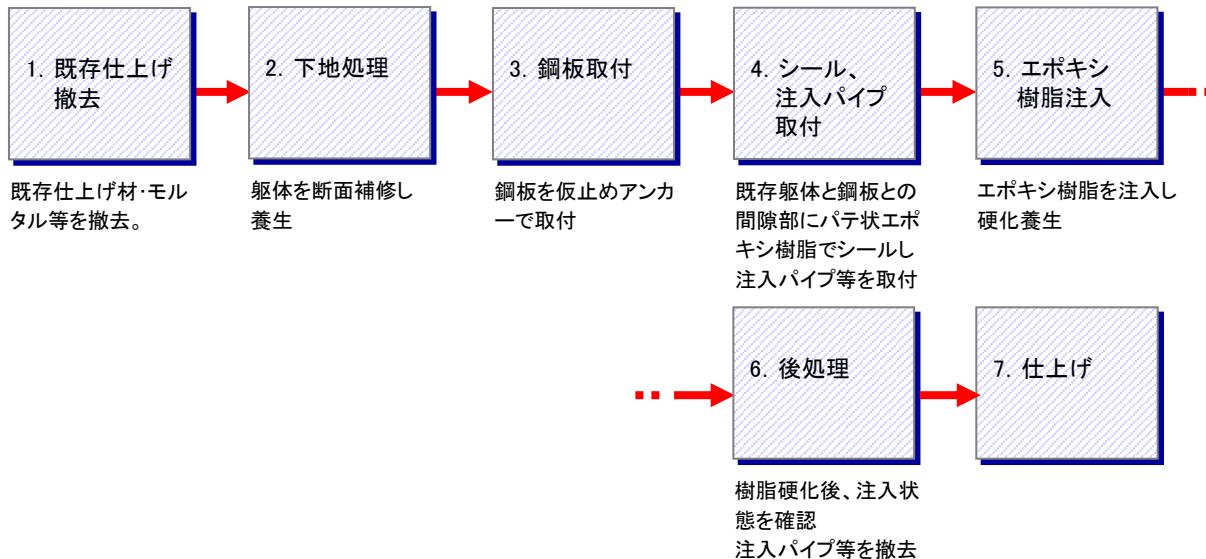
- ・構造物の曲げ・せん断耐力、変形性能を向上させることができます。
- ・構造物の剛性が向上し、振動対策、車両等の繰り返し荷重による疲労劣化対策に有効です。

2. 広範囲な適用対象

- ・補強対象建物は、鉄筋コンクリート(RC)造または鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)造です。
- ・柱(せん断補強)、梁(せん断補強、開口補強)、壁(開口補強)、スラブ(曲げ補強、開口補強)が補強対象です。
- ・橋脚・建築柱のせん断補強の場合、躯体と鋼板の間はエポキシ樹脂と無収縮モルタルのどちらでも対応が可能です。

○ 施工方法

鋼板接着工法は、以下の施工フローで実施します。



○ 使用材料

- シール材 : ボンド E2370M
- 注入材 : ボンド E2300
- 断面補修材 : イーグルクリートGL-4H または U-リペアライト（ポリマーセメントモルタル）

○ 施工例



柱補強



梁補強・スラブ補強



梁貫通孔補強



株式会社東邦アーステック
建設事業本部

〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目13-10 武蔵野ビル
TEL 03-5367-2661(代) FAX 03-5367-2666
<http://www.tohoearthtech.co.jp>

大阪

TEL 06-6886-8221(代)
FAX 06-6886-8228

